



Whanganui City College

ワンガヌイ・シティ・カレッジ、ワンガヌイ（北島）

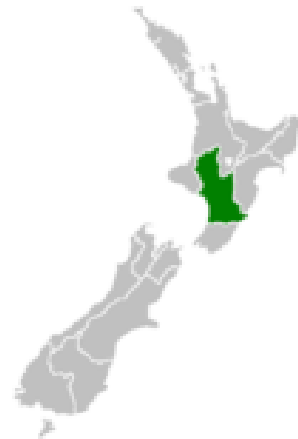
「ワンガヌイ」とはマオリ語で「大きな入り江」という意味で、その名の通り市内には大きな川が流れており、それが大きな入り江から海に流れ出ています。かつてはマオリ民族や先住人たちに国内移動のルート地としてよく使われていた場所です。歴史的建造物も多く、自然と見事に調和した街並みが魅力です。

ワンガヌイの特徴

- 北島の南部にある、歴史ある町
- カヌーや登山、スキー、黒砂のビーチなど自然を満喫できる環境
- マナワツ・ワンガヌイ地方の中心都市であるパーマストン・ノースまで日帰りで行ける距離。また首都ウェリントンまでも車で2時間半の距離
- 公共施設としては国内で唯一、窯場を一般開放しているガラス工房やニュージーランド・オペラ・ハウスなど芸術活動も盛んなクリエイティブな街

ワンガヌイ・シティ・カレッジを選ぶわけ

- 1911年創立。歴史ある学校
- 留学生にとって、いろいろな活動に参加しやすい環境
- 生徒数330名という学校規模で、一人ひとりに目が行き届きやすくなおかつ選択科目やクラブ活動などバラエティ豊かに開催できるサイズ感



留学生はスポーツ・課外活動へ参加を

ワンガヌイ・シティ・カレッジでは、留学生はなにかしらのクラブ活動に参加をすることが推奨されています。運動系でも文化系でも、なにかしらに参加をすることで周りとの結びつきを強くし、また新しい環境にいち早く慣れることができるでしょう。ワンガヌイ・シティ・カレッジは音楽・スポーツともに盛んで、様々な選択肢を用意しています。音楽に関しては鑑賞、作曲、音楽の歴史、理論、技術とたくさん学ぶことができ、学校内には音楽室の他にパフォーマンズルーム、リハーサルスペース、レコーディングスタジオもあります。また、ギターやドラム、吹奏楽、ピアノも別途受講料を払えば受講可能です。



スポーツ面では学校内外問わず活動の場を設けており、他校との練習試合もたくさん行っています。夏はクリケットやバレーボール、ワカアマ（ニュージーランドのアウトリガー）、冬はラグビー、ネットボール、ホッケーなどを楽しむことができます。

Whānau クラス

ワンガヌイ・シティ・カレッジの教育システムにおいて重要な役割を担っているのが、Whānau クラスと呼ばれるクラスです。Whānau とはマオリ語で「家族」を意味し、家族のような繋がりを提供するシステムです。9年生から13年生の生徒は、朝、登校したらまず Whānau クラスへ行き、Whānau 担当教師と挨拶を交わします。そこで連絡事項や出席確認、きちんと制服が着用できているかどうかの確認等がなされ、またなにか心配事や不安がないかの確認も行われます。日本の学校で言うホームルームに近いですが、この Whānau の時間は学年に関係なく生徒が集まり、上級生が下級生を弟・妹のようにお世話をしてくれます。そうやって上級生にお世話になった下級生が、翌年、翌々年には今度は下級生のお世話をするというまさに「家族」のような絆が芽生えます。毎朝の Whānau 時間を通して、生徒が素敵な1日のスタートが切れるように心がけられています。



学校データ

受入学年	9年生～13年生	ESOL プログラム	あり（年度によって異なります）
生徒数	330人	制服	あり
開始日	1月、4月、7月	滞在方法	ホームステイ